

[2] 中心市街地の現状

(1) 岩国市中心市街地の概要と位置づけ

本市のまちの原型は、関ヶ原の戦い後、出雲国富田 12 万石から岩国 3 万石（後 6 万石）に移封された吉川広家が初代岩国藩主になって以降のことで、歴代藩主が干拓事業に努め、明治維新を迎えるころには河口一帯に 15 km²に及ぶ干拓地を作り上げた。

中心市街地は、本市の東側に位置し瀬戸内海に面する沿岸部に隣接している。行政拠点として市役所をはじめ、国の出先機関や山口県岩国総合庁舎など公共的な施設が集まるとともに、岩国駅前の商店街（本通・中通・中央通り）が地域経済の中心として、J R 岩国駅がまちの玄関口としての役割を担っている。

岩国駅は国道 2 号や国道 188 号に隣接し、市営バス等の発着駅があるなど、交通機関の結節点として発展してきた。その周辺には、日本製紙株式会社、帝人株式会社などの大企業が立地し、今津川の南には米国海兵隊基地及び海上自衛隊が存在している。

1980 年頃までは、交通機関の結節点という利点を生かして、中心市街地に旅館やホテル、フードサービスなどが進出し、高いポテンシャルを維持していた。

しかし、道路等のインフラ整備が進み、車社会が発展してくると、市民は公共交通機関を利用しなくなり、車での利用がしやすいロードサイド店舗が徐々に発展していった。そのため、地域商業の中心は郊外エリアへと移行していき、中心市街地の商店街は徐々に活力を失い、後継者不足という問題からも空き店舗が増加していった。さらには広島市への消費の流出により、中心市街地の商工業は吸引力の低下を見せるようになった。

このような背景から、旧岩国市では、旧中心市街地活性化法に基づき、平成 13 年から市民と行政、TMO（*）（岩国商工会議所）などが協力してまちづくりに取り組み、一部成果を収めつつあるものの、その活動と効果が都市機能の一層の充実など多くの分野に広がっておらず、今後は、より多様なまちづくりの主体の参加と事業展開が必要である。

そのためには、これまでの活性化の方向性を踏まえつつ、文化、環境、福祉、住宅といった生活と深く関わるまちづくりの分野に取り組むとともに、商業や観光の面での充実を図り、新しい時代を拓いていくことが求められている。

* TMO（Town Management Organization）とは、中心市街地における商業まちづくりをマネージメント（運営・管理）する機関をいう。

岩国祭の風景



岩国市位置図

<岩国市行政区域図>

合併 平成 18 年 3 月 20 日

平成 26 年 4 月 1 日現在

旧岩国市 98.4 千人

由宇町 8.6 千人

玖珂町 10.9 千人

本郷町 1.0 千人

周東町 13.2 千人

錦町 2.9 千人

美川町 1.2 千人

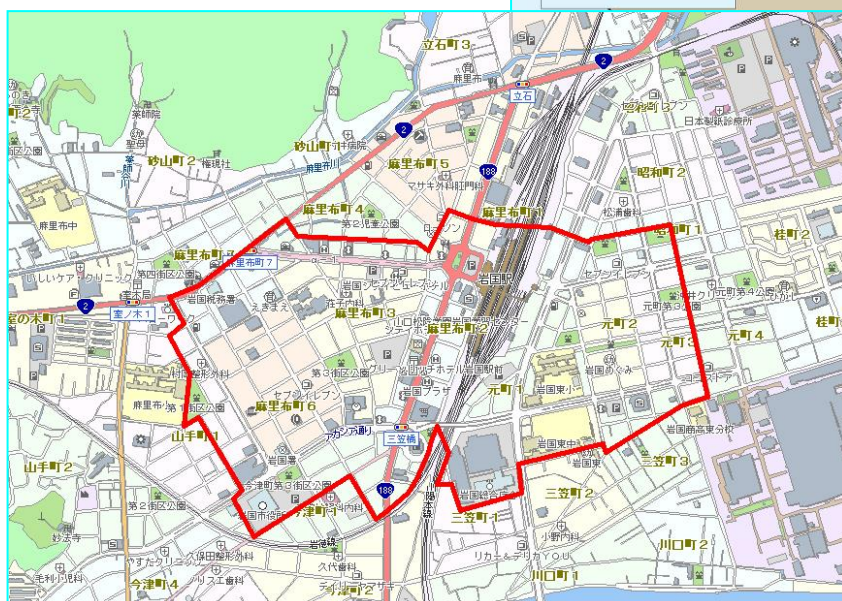
美和町 4.3 千人

人口 140,524 人

面積 873.85 km²



<中心市街地エリア>
(面積約 79ha)



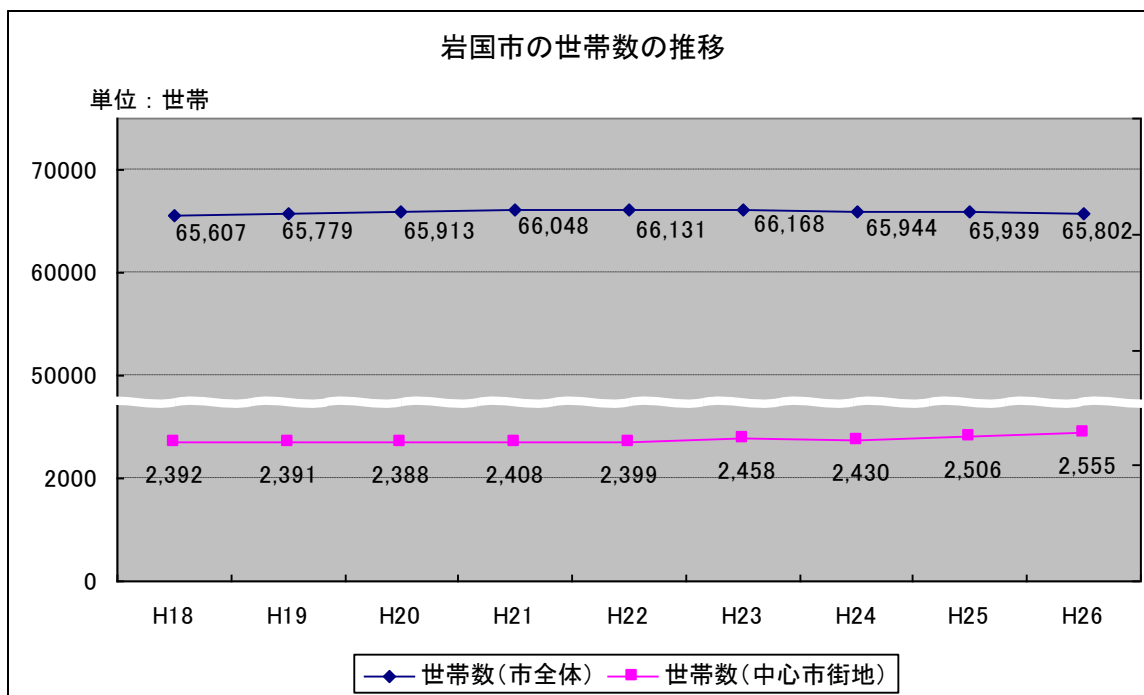
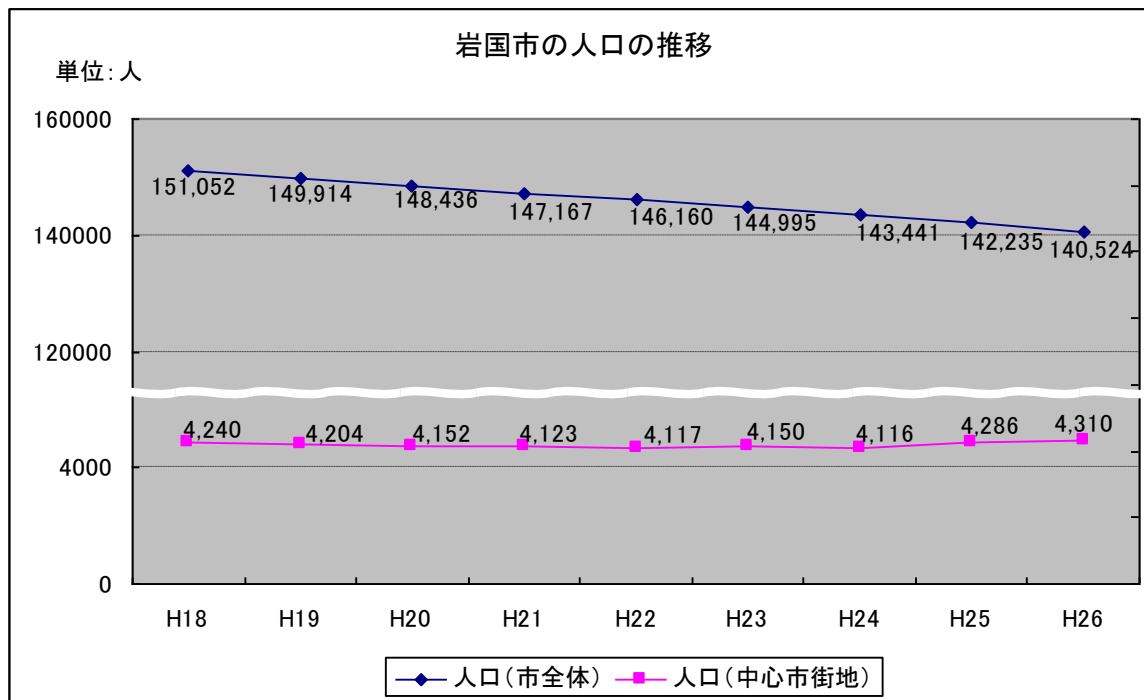
(2) 中心市街地の現状に関する統計的なデータの把握

①人口（人口・高齢化率・人口集中）

岩国市の人口は、年々減少を続けている。平成18年3月に8市町村が合併したが、その後も人口減少に歯止めがかかっていない。一方、中心市街地内の人口は、ほぼ横ばいの傾向にある。

世帯数は、市全体では横ばいであるが、中心市街地では増加傾向にある。

<人口及び世帯数の推移>



(資料：住民基本台帳)

人口密度については、市全体では下がってきているが、中心市街地では、横ばいの傾向にあり、全人口が減少傾向にあることを考えると、本市の中心市街地は、居住性等の利便性が高いことから、人口流入が若干ある地域だと言える。

市全体での高齢化率は、平成 18 年で 26.1%、平成 26 年では 31.6%になっており 8 年間で 5.5 ポイント上昇している。

また、中心市街地においては、平成 18 年で 18.9%、平成 26 年では 23.4%になっており 8 年間で 4.5 ポイント上昇している。

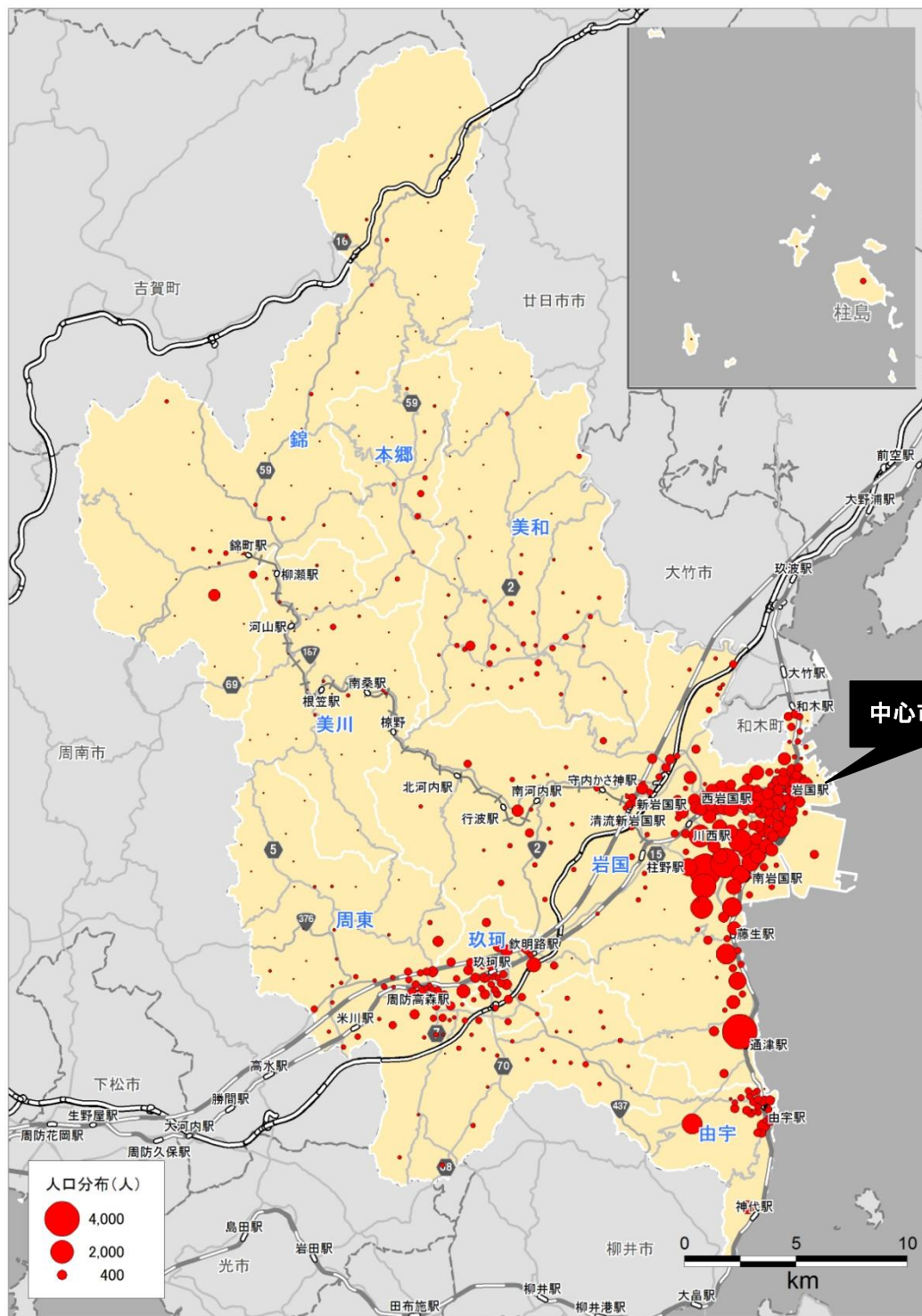
このように、高齢化率については、市全域よりも進んではいないが、中心市街地においても、高齢化は着実に進行している。

<人口集中・高齢化の状況>

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
市全体人口（A）	151,052	149,914	148,436	147,167	146,160	144,995	143,441	142,235	140,524
人口密度（人/km ² ）	173	172	170	168	167	166	164	163	161
高齢者	39,462	40,192	40,641	41,230	41,748	41,700	42,256	43,275	44,371
高齢者率	26.1%	26.8%	27.4%	28.0%	28.6%	28.8%	29.5%	30.4%	31.6%
中心市街地人口（B）	4,240	4,204	4,152	4,123	4,117	4,150	4,116	4,286	4,310
人口密度（人/km ² ）	5,367	5,322	5,256	5,219	5,211	5,253	5,210	5,425	5,456
高齢者	800	815	828	829	852	858	871	913	1,009
高齢者率	18.9%	19.4%	19.9%	20.1%	20.7%	20.7%	21.2%	21.3%	23.4%
中心市街地人口の割合 （B／A）	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%	2.9%	2.9%	3.0%	3.1%

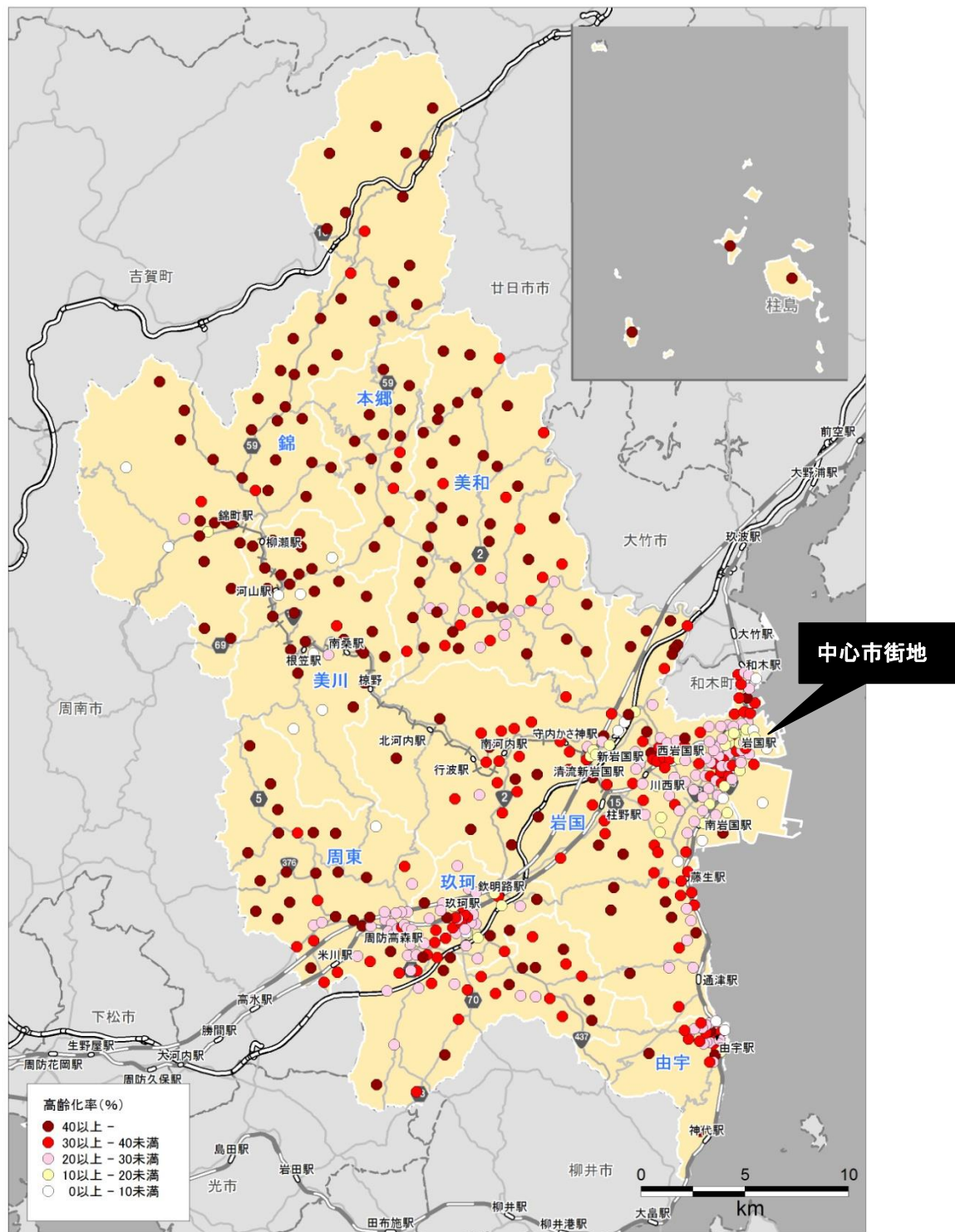
（資料：住民基本台帳）

<人口の分布状況（自治会単位）>



(資料：住民基本台帳、平成 25 年 9 月 1 日時点)

<自治会別の高齢化の状況>



(資料：住民基本台帳、平成 25 年 9 月 1 日時点)

② 商業

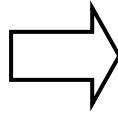
ア) 事業所数、従業者数

平成 24 年の事業所数は、平成 13 年時点と比べ市全体で約 20%減少しており、
中心市街地では約 27%も減少している。

従業者数も、事業所と同様に市全体、中心市街地ともに減少している。

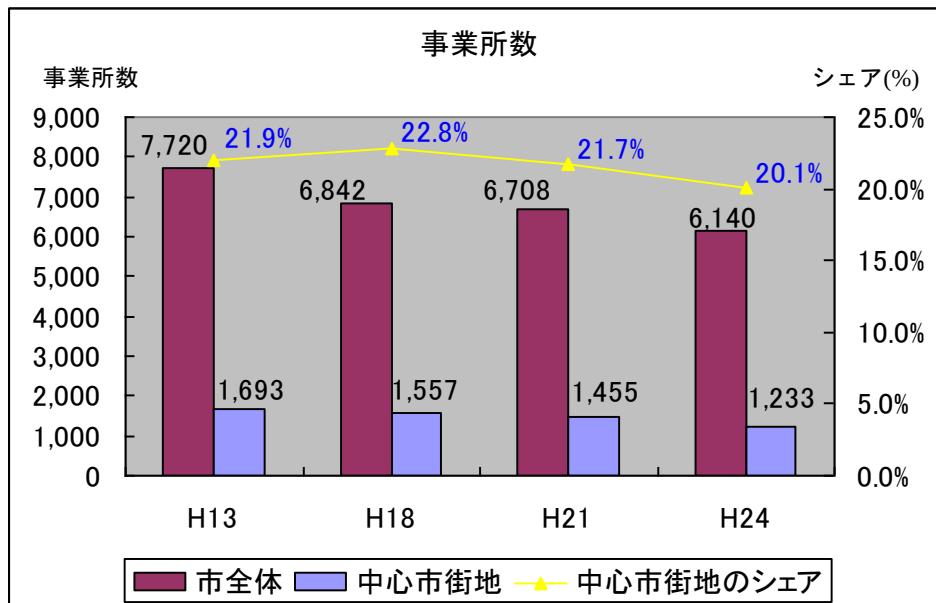
平成 13 年

事業所数 1,693 (21.9%)



平成 24 年

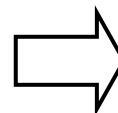
事業所数 1,233 (20.1%)



(資料：H13、H18 は事業所・企業統計。H21、H24 は経済センサス)

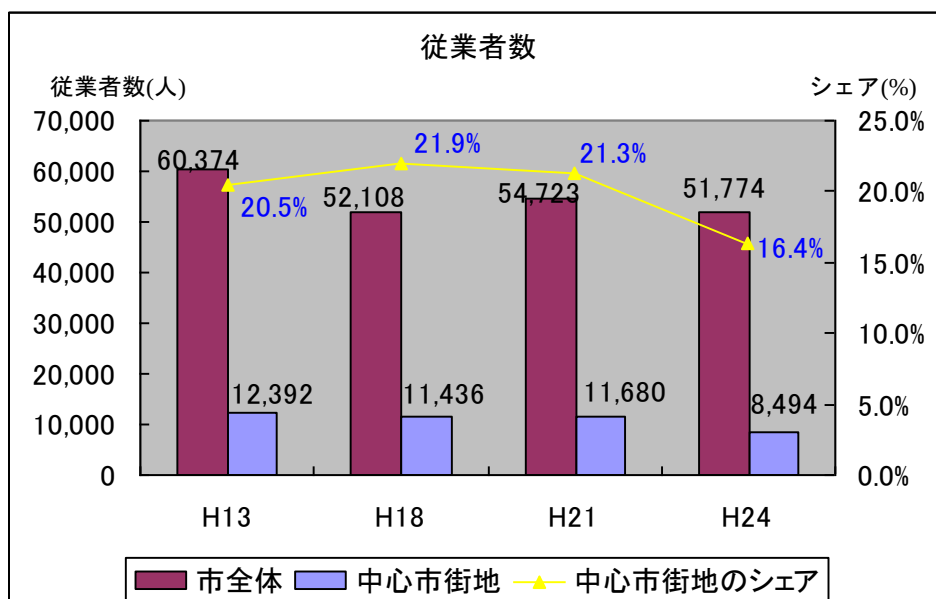
平成 13 年

従業者数 12,392 人 (20.5%)



平成 24 年

従業者数 8,494 人 (16.4%)



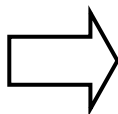
(資料：H13、H18 は事業所・企業統計。H21、H24 は経済センサス)

イ) 小売業商店数

市全体、中心市街地ともに減少している。中心市街地では、平成 14 年から平成 19 年の 5 年間で、25 店舗（9.4%）減少している。

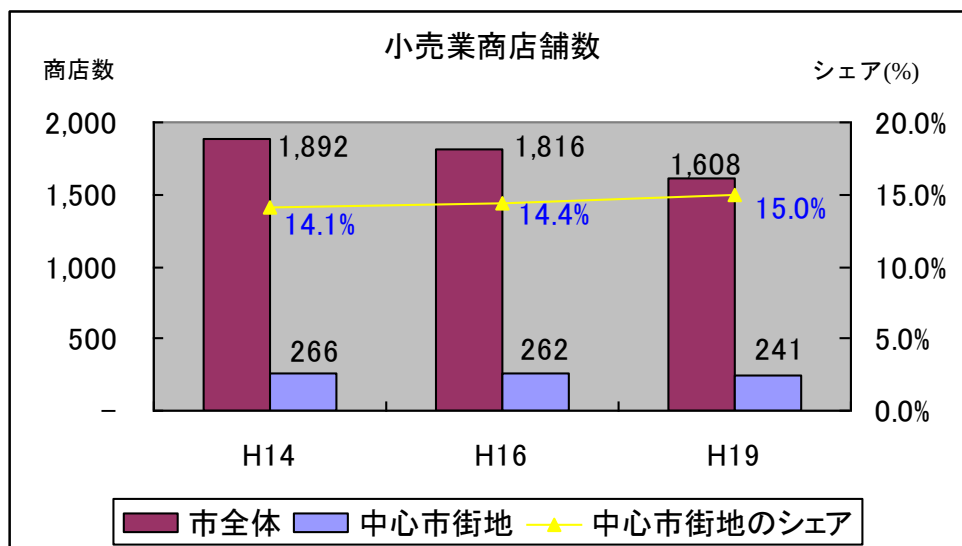
平成 14 年

266 店舗 (14.1%)



平成 19 年

241 店舗 (15.0%)



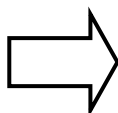
(資料：商業統計調査)

ウ) 小売業従業者数

市全体、中心市街地ともに減少している。中心市街地では、平成 14 年から平成 19 年の 5 年間で、221 人（13.6%）減少している。

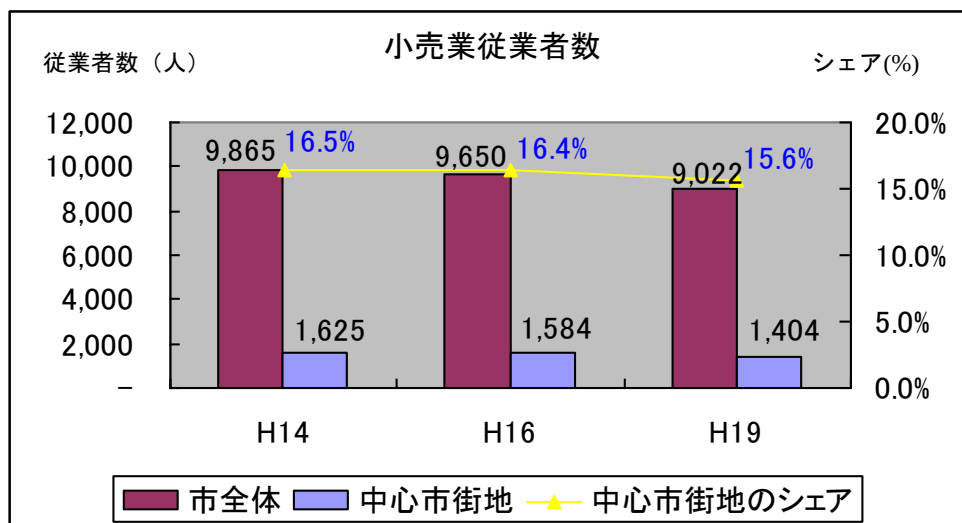
平成 14 年

1,625 人 (16.5%)



平成 19 年

1,404 人 (15.6%)



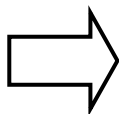
(資料：商業統計調査)

エ) 小売業年間商品販売額

市全体、中心市街地ともに減少している。中心市街地では、平成 14 年から平成 19 年の 5 年間で、4,118 百万円（13.6%）減少している。

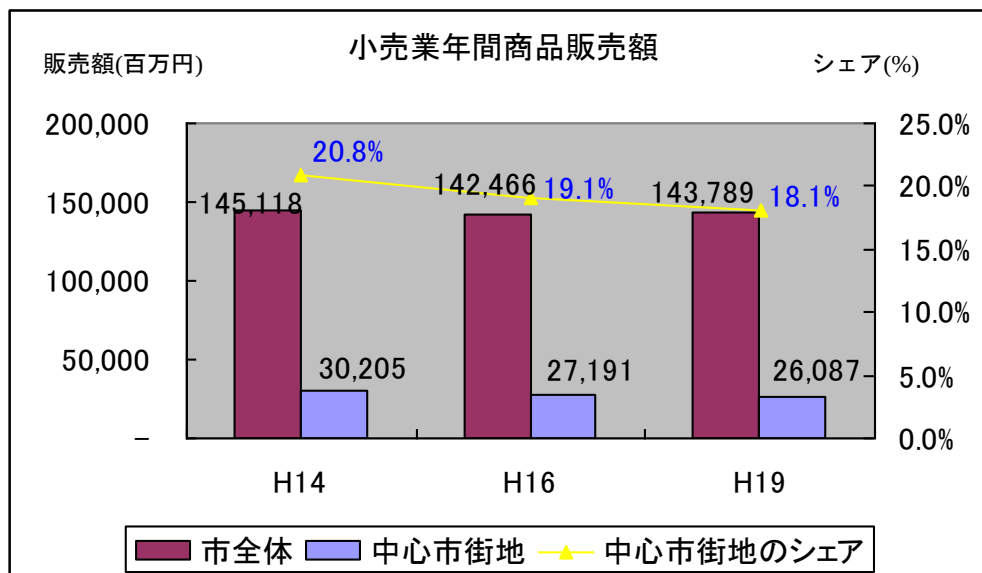
平成 14 年

30,205 百万円 (20.8%)



平成 19 年

26,087 百万円 (18.1%)



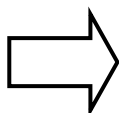
(資料：商業統計調査)

オ) 小売業売場面積

市全体、中心市街地ともに減少している。中心市街地では、平成 14 年から平成 19 年の 5 年間で、561 ㎡（1.4%）減少している。

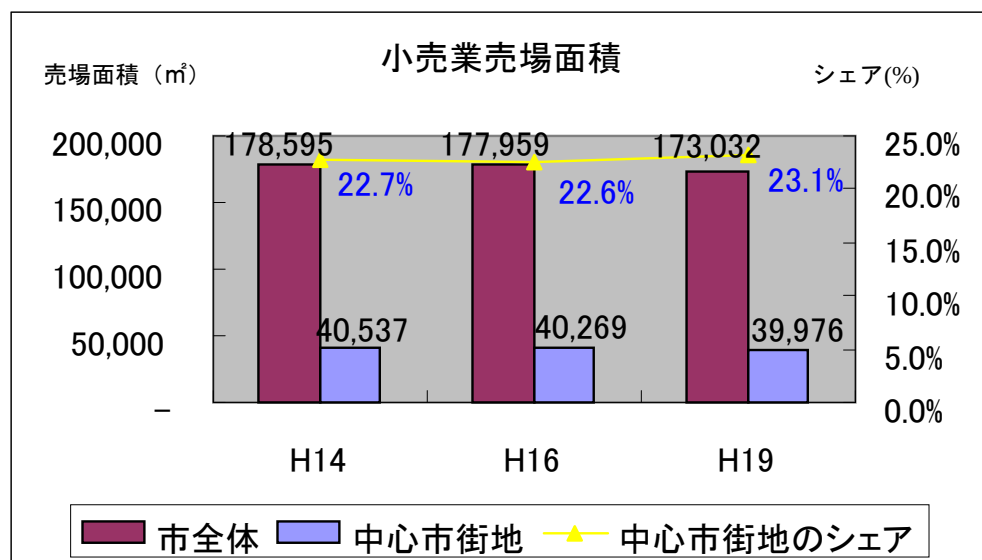
平成 14 年

40,537 ㎡ (22.7%)



平成 19 年

39,976 ㎡ (23.1%)



(資料：商業統計調査)

カ) 大型商業施設

床面積が 10,000 m²を超える市内でも数少ない大規模集客施設のひとつが中心市街地内にあり、近年においても中心市街地外への大規模集客施設建設の動きはない。

店舗面積が 1,000 m²を超える大規模小売店舗については、市全体では多少の増加傾向にあるものの、中心市街地内においては、ほとんど変化がない状況である。

<大規模集客施設・大規模小売店舗>

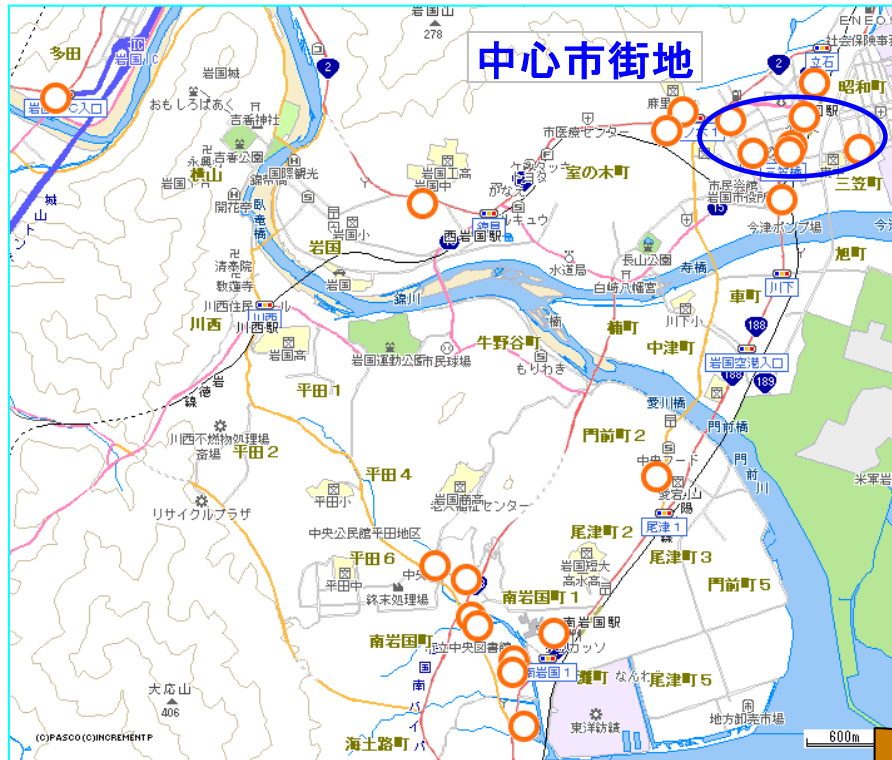
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
大規模集客施設数	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2
中心市街地	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大規模小売店舗数	28	29	30	30	30	32	32	32	32	32
中心市街地	6	7	7	7	7	6	6	6	6	6

*大規模集客施設とは、床面積が 10,000 m²を超える店舗

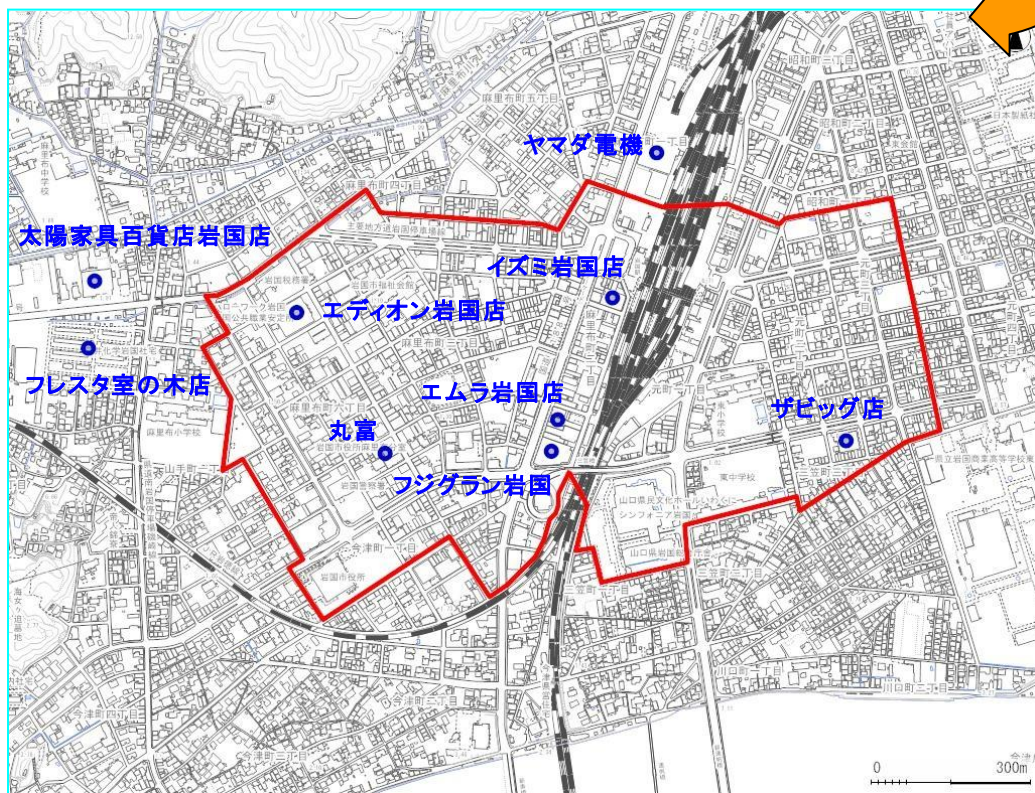
*大規模小売店舗とは、店舗面積が 1,000 m²を超える店舗

(資料：岩国市産業振興部商工振興課)

＜大規模小売店舗の位置＞（店舗面積が1,000㎡を超える店舗）



＜中心市街地周辺＞



（資料：岩国市産業振興部商工振興課）

＜大規模小売店舗の一覧＞（店舗面積：1,000㎡を超える店舗）

□		名称	業態	現況(㎡)	所在地	開店年月
				店舗面積		
中心市街地	1	㈱エムラ 岩国支店	大型専門店衣料	1,452	麻里布町2-9-26	S.35.03
	2	㈱イズミ 岩国店	量販店	4,376	麻里布町2-1-21	S.49.10
	3	㈱丸富	大型専門店玩具・人形	1,495	麻里布町6-8-5	S.50.09
	4	㈱フジ フジグラン岩国	量販店	13,737	麻里布町2-9-8	S.62.04
	5	㈱エディオン エディオン岩国店	大型専門店家電	3,968	麻里布町7-9-40	H.07.07
	6	マックスバリュ西日本㈱ ザ・ビッグ岩国店	スーパーマーケット	1,594	三笠町3-2-2	S.52.06
その他	7	㈱ヤマダ電機 テックランド岩国店	大型専門店家電	3,478	麻里布町1-8-13	H.18.08
	8	㈱太陽家具百貨店 岩国店	大型専門店家具	1,490	室の木町1-1-19	S.50.10
	9	㈱フレスタ フレスタ室の木店	スーパーマーケット	9,678	室の木町1-4-72	H.19.12
	10	㈱丸久 西岩国店	スーパーマーケット	1,191	錦見5-17-13	S.53.08
	11	㈱丸久 錦見店	スーパーマーケット	1,238	錦見8-21-56	H.07.12
	12	明屋書店南岩国店、アルク南岩国	書籍＋スーパーマーケット	3,022	南岩国町3-8-3-8-63	H.09.11
	13	マックスバリュ西日本㈱ 南岩国店	スーパーマーケット	2,049	尾津町1-16-5	H.12.04
	14	㈱イズミ ゆめタウン南岩国店	ショッピングセンター	13,837	南岩国町1-20-30	S.58.12
	15	㈱フジ パルティ・フジ南岩国(A敷地)	ショッピングセンター	1,721	南岩国町3-22-63	H.16.03
	16	㈱フジ パルティ・フジ南岩国(B敷地)	ショッピングセンター	3,051	南岩国町3-22-63	H.16.03
	17	㈱中央フード 平田店	スーパーマーケット	3,221	南岩国町2-76-27	S.54.10
	18	㈱万惣 南岩国店	スーパーマーケット＋雑貨	3,951	南岩国町2-5-36	H.12.10
	19	ホームプラザ ナフコ南岩国店(本館)	ホームセンター	4,000	南岩国町3-32-2	H.08.10
	20	ホームプラザ ナフコ南岩国店(ハード館)	ホームセンター	2,396	南岩国町3-6-1	H.22.10
	21	マックスバリュ西日本㈱ マックスバリュ通津店	ショッピングセンター	2,743	通津3735	H.03.10
	22	森重家具店	大型専門店家具	1,288	由宇町中央1-2-25	S.38.06
	23	丸久由宇店	スーパーマーケット	1,052	由宇町北1-4-1	H.11.11
	24	ジュンテンドー玖珂店	ホームセンター	1,050	玖珂町6706-5	H.04.06
	25	ホームプラザ ナフコ玖珂店	ホームセンター	1,931	玖珂町6677-1	H.09.08
	26	㈱ミコー食品 ミコー玖珂店	スーパーマーケット	1,464	玖珂町1014-1	H.09.12
	27	マックスバリュ西日本㈱ マックスバリュ玖珂店	ショッピングセンター	1,885	玖珂町5149-1	H.10.10
	28	バリュマルシン	スーパーマーケット	1,874	周東町下久原1375	S.53.08
	29	しまむら周東店	衣料専門店	1,029	周東町下久原601	H.07.12
	30	マックスバリュ西日本㈱ ザ・ビッグ周東店	ショッピングセンター	7,847	周東町下久原436	H.21.08
	31	ホームセンタージュンテンドー岩国インター店	ショッピングセンター	2,038	多田100-1	H.22.11
	32	ドラッグコスモス周東店	ドラッグストア	1,644	周東町下久原604-2	H.23.01

*4 と 14 は大規模集客施設（床面積：10,000㎡を超える店舗）

（資料：岩国市産業振興部商工振興課）

キ) 空き店舗の状況

中心市街地への新規出店件数は、市独自の家賃補助制度の影響もあり、平成15年の条例施行後、毎年度順調に出店数を確保している。

全国的に商業地を中心にして地価は下がっているが、本市の中心市街地においては、依然として郊外の住宅地の地価に比べて高額であり、不動産の売買に直結しにくい状況にあると考えられる。

中心市街地の不動産所有者は、未利用、低利用の不動産を所有したまま、不動産の老朽化に対応するための整備を行わず、一等地にありながら空き店舗のまま、その活用策の検討が進んでいないという結果に結びついている。

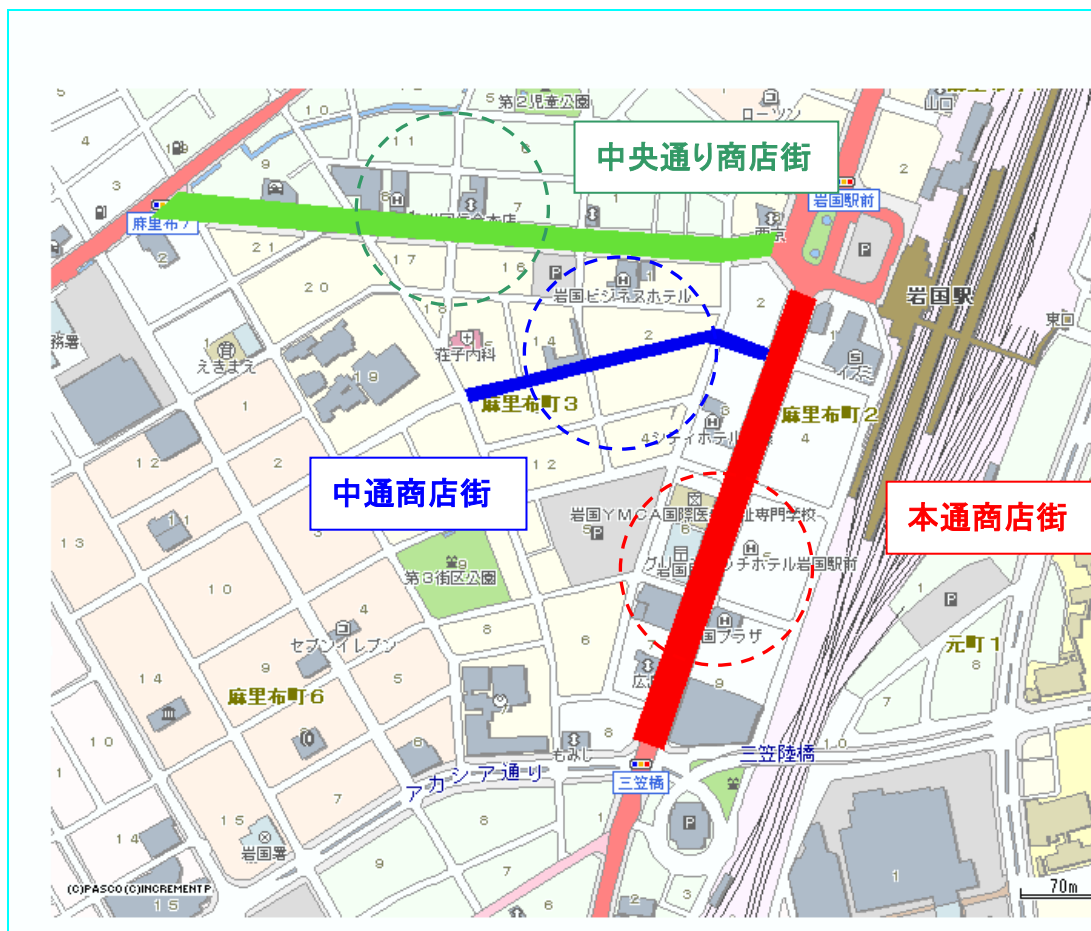
＜中心市街地内商店街の空き店舗率＞

(単位：店)

□	本通商店街			中通商店街			中央通り商店街			合 計		
	総店舗数	空き店舗		総店舗数	空き店舗		総店舗数	空き店舗		総店舗数	空き店舗	
		店舗数	割合		店舗数	割合		店舗数	割合		店舗数	割合
H18	100	15	15.0%	61	11	18.0%	90	6	6.7%	251	32	12.7%
H19	99	19	19.2%	60	11	18.3%	91	7	7.7%	250	37	14.8%
H20	99	20	20.2%	58	15	25.9%	93	5	5.4%	250	40	16.0%
H21	96	20	20.8%	54	15	27.8%	96	4	4.2%	246	39	15.9%
H22	95	15	15.8%	54	13	24.1%	92	6	6.5%	241	34	14.1%
H23	97	19	19.6%	56	15	26.8%	91	6	6.6%	244	40	16.4%
H24	95	16	16.8%	56	14	25.0%	91	6	6.6%	242	36	14.9%
H25	97	18	18.6%	56	15	26.8%	93	10	10.8%	246	43	17.5%

(資料：商店街現況調査)

＜空き店舗調査の位置＞



③ 交通

ア) 鉄道

都市間移動を担う J R 山陽新幹線の駅として市内に新岩国駅が存在する。また、沿岸部の旧岩国地域、由宇地域を J R 山陽本線が、内陸部の玖珂地域、周東地域を J R 岩徳線が運行している。山間部の美川地域、錦地域を錦川清流線が運行している。

乗車人数は、市の玄関口である J R 岩国駅が市内で最も多く、約 6 千人／日の利用がある。利用者数の推移は、一部の駅で増加が見られるものの、J R 山陽本線、J R 岩徳線、錦川清流線いずれも長期的に減少傾向にある。

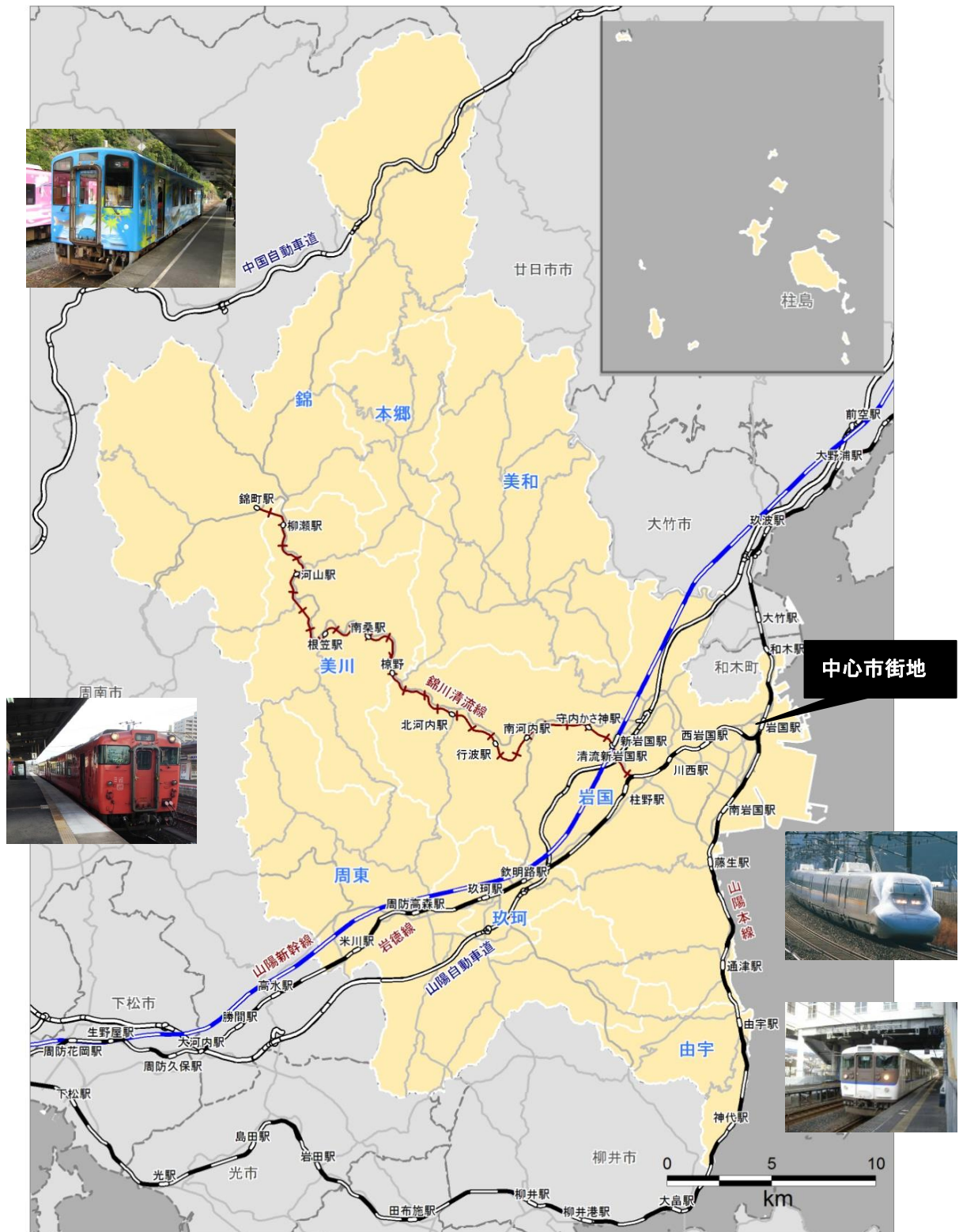
第三セクターである錦川鉄道株式会社が運行している錦川清流線は、沿線の急激な過疎化・高齢化の影響もあり、開業以来赤字が続いている。

< 鉄道乗車人数 >

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
J R	年間乗車 人数(人)	2,412,629	2,402,742	2,363,437	2,301,532	2,301,315	2,312,571	2,205,515	2,123,409	2,115,243	2,130,586	2,125,526
	H15 との比較 (%)	100%	99.6%	98.0%	95.4%	95.4%	95.9%	91.4%	88.0%	87.7%	88.3%	88.1%
錦 川 鉄 道	年間乗車 人数(人)	420,684	377,965	320,507	306,749	288,113	262,902	246,298	241,462	230,463	217,969	209,977
	イベント 列車(本)	15	15	11	15	12	13	11	14	16	19	20
	イベント 列車(人)	3,300	1,958	1,248	1,553	1,108	1,265	1,119	1,752	1,111	2,315	1,303

(資料：山口県統計年鑑・西日本旅客鉄道(株)・錦川鉄道(株))

<鉄道路線>



鉄道の状況

イ) バス

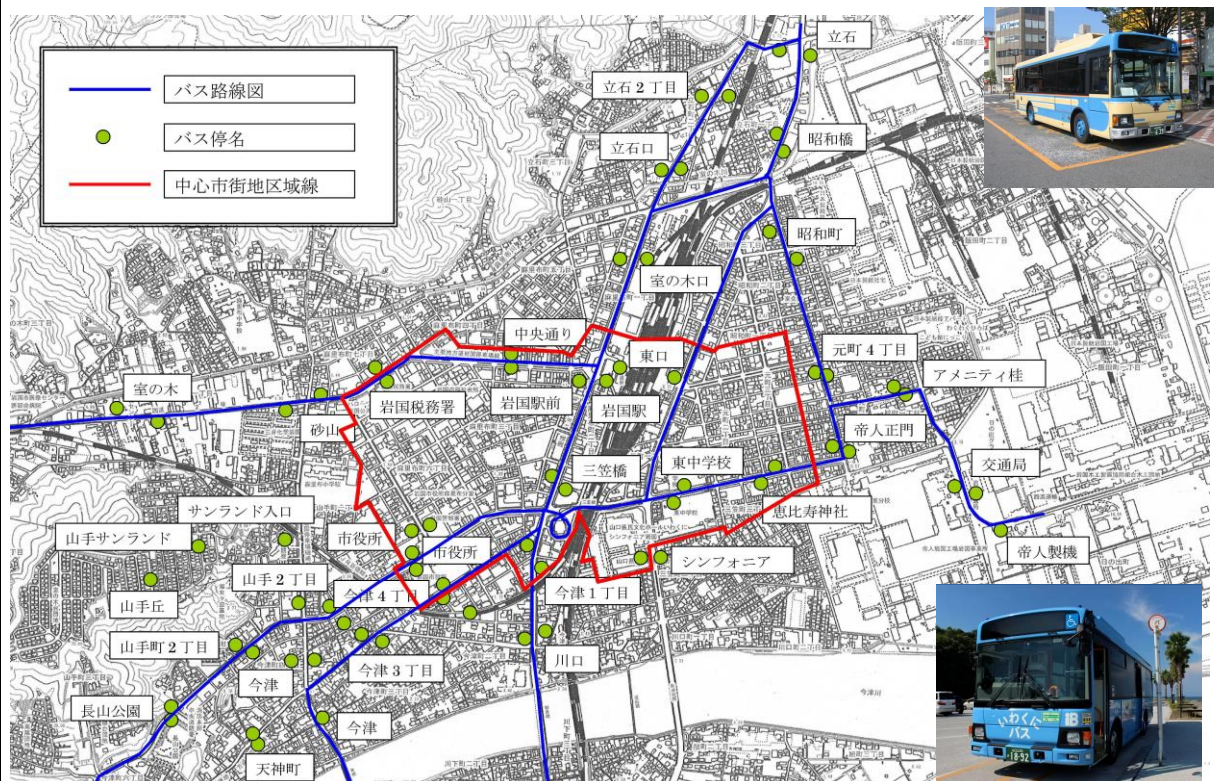
岩国市交通局・いわくにバス株式会社（*）は、主に旧岩国地域の路線バスを運行しており、平成 27 年 4 月の完全民営化に向け、岩国市交通局からいわくにバス株式会社に路線を順次移管している。また、いわくにバス株式会社は、平成 24 年 12 月に開港した岩国錦帯橋空港と岩国駅を結ぶアクセスバスを運行している。

その他の路線として、旧岩国地域を除く地域に、主に廃止代替として岩国市生活交通バスや防長交通株式会社により周南市や柳井市との間を結ぶ広域の路線バスが運行されている。

岩国市交通局・いわくにバス株式会社が運行する路線では、マイカー利用の増加とともに近年コミュニティバスの見直し等の影響もあり利用者が大きく減少している。

* 岩国市交通局が 100%出資する民間事業者

<市営バス路線>



（資料：交通局、いわくにバス(株)）

<市営バス利用者数>

単位：人／日	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
市営バス利用	6,845	7,419	7,148	6,931	5,918	5,248	5,819	5,660
岩国駅バス停利用(乗車)	1,604	1,729	1,611	1,706	1,501	1,590	1,377	1,408
岩国駅バス停利用(降車)	1,346	1,509	1,448	1,423	1,299	1,474	1,189	1,145
コミュニティバス利用	750	822	777	747	303	383	347	325
高速バス利用	169	240	266	236	207	208	207	196

* 高速バスは、平成 18 年度から

* 高速バスは市営バスのみ（防長バスは入っていない）

（資料：岩国市交通局、いわくにバス(株)）

ウ) 航空機

平成 24 年 12 月 13 日、岩国錦帯橋空港が米軍岩国基地との軍民共用空港として開港した。岩国一羽田間 1 日 4 往復が運航され、首都圏と山口県東部地域・広島県西部地域を結ぶアクセスが充実する中、岩国錦帯橋空港と J R 岩国駅が非常に近接していることから、ビジネス利用や観光による来訪者の増加に加え、企業進出、事務所開設等による新たな人の流れを中心市街地に誘導することが今後の課題である。



< 岩国錦帯橋空港航空機利用者実績 >

平成 24 年度

月	12	1	2	3
人数	20,107	24,046	23,714	29,985

平成 25 年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	26,798	29,296	27,059	28,849	34,963	28,534	28,659	31,495	27,740	24,653	20,747	29,069

(資料：全日本空輸(株))

エ) 歩行者等通行量

平成 24 年度から調査地点を 1 地点増加させて 11 地点にした。減少傾向にあった通行量は、調査時点の 2 か月前に開港した岩国錦帯橋空港の効果もあり増加に転じている。平成 25 年度は 12 地点調査したが軒並み減少しており、予断を許さない状況である。

<調査地点別通行量>

(単位：人／日)

調査地点	H21		H22		H23		H24		H25	
	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日
①髪屋・交差点前	6,340	6,885	6,150	5,740	4,597	5,030	4,808	4,741	4,047	4,963
②防長バス停前	4,369	3,706	3,468	2,569	2,845	2,631	3,843	3,381	2,072	2,722
③アンデルセン前	5,325	5,587	4,296	4,274	3,955	4,739	4,973	4,867	4,124	4,323
④アンデルセン向	3,620	2,893	2,946	2,436	2,650	2,467	3,383	2,678	2,325	2,513
⑤中通り入り口	5,734	6,067	5,084	4,383	4,219	4,236	5,226	4,793	3,575	3,609
小計	25,388	25,138	21,944	19,402	18,266	19,103	22,233	20,460	16,143	18,130
⑥旧西京銀行前	3,077	2,329	2,696	1,845	1,916	1,652	—	—	1,542	1,660
⑦リビエール前	794	850	836	748	525	586	763	599	439	652
⑧中通り出口	1,281	1,125	1,146	989	1,112	1,007	1,317	1,112	915	851
⑨元山口銀行前	4,193	3,547	4,761	3,205	4,381	2,868	5,463	4,601	3,163	4,960
⑩フジグラン前	4,700	4,953	4,644	4,190	4,028	4,647	4,815	4,709	3,162	4,244
⑪YMCA 横	—	—	—	—	—	—	746	601	411	555
⑫岩国駅東口	—	—	—	—	—	—	1,182	894	959	848
合計	39,433	37,942	36,027	30,379	30,228	29,863	36,519	32,976	26,734	31,900

(資料：岩国市中心市街地通行量調査)

<調査地点>



* 平成 24 年度に⑪YMCA 横と⑫岩国駅東口の 2 地点を追加し、⑥旧西京銀行前を調査しなかったが、平成 25 年度に再設定した。

オ) 駐車場利用台数

郊外の大規模小売店舗が無料駐車場を整備しているのに対し、中心市街地内の駐車場は原則有料となっている。このことが、中心市街地への自家用車で来街者を減少させている要因だと考えられる。そこで、駐車場の利用者の利便性を向上させるためのシステムとして、株式会社街づくり岩国では、平成 21 年 12 月に共通駐車サービス券事業「岩国まちなかパーキング」を開始した。この事業は、加盟店を利用した際に共通駐車券を発行し、その券を駐車料金に充当するシステムである。

<中心市街地駐車場MAP>



駐車場名	台数	駐車場名	台数	駐車場名	台数
1 コインパーク麻里布	26	9 岩国国際パーキング	56	17 まりふパーク	30
2 ダイアンガレージ	21	10 丸石駐車場	39	18 三笠駐車場	275
3 Be パーク（麻里布町第3）	13	11 マリフパーク	33	19 アットパーク岩国駅前	28
4 岩国駅自家用車整理場	28	12 Be パーク（麻里布町第1）	18	20 M-3 パーク麻里布	12
5 中通り駐車場	50	13 穴吹パーク麻里布 342	9	21 岩国駅前パーキング	23
6 岩国ビジネスホテル	22	14 岩国駅西パーキング	23	22 岩国駅南パーキング	31
7 麻里布駐車場	163	15 グリーンパーク	18	23.24 フジグラン岩国	380
8 WAKO PARK	38	16 豊駐車場パーキングクリエイト岩国	40		

(資料：街づくり岩国作成パンフレット)

カ) 自転車・バイク

中心市街地内の放置自転車数は、平成 21 年度をピークに若干の減少傾向を示しているが、現在の放置自転車数を平成 16 年度と比較したとき、約 1.5 倍に増えている。

これは、公共交通機関（J R 岩国駅）までの通勤・通学の手段として、自転車利用者が増えていることを示しているものと推測される。

＜中心市街地内の放置自転車・バイク＞

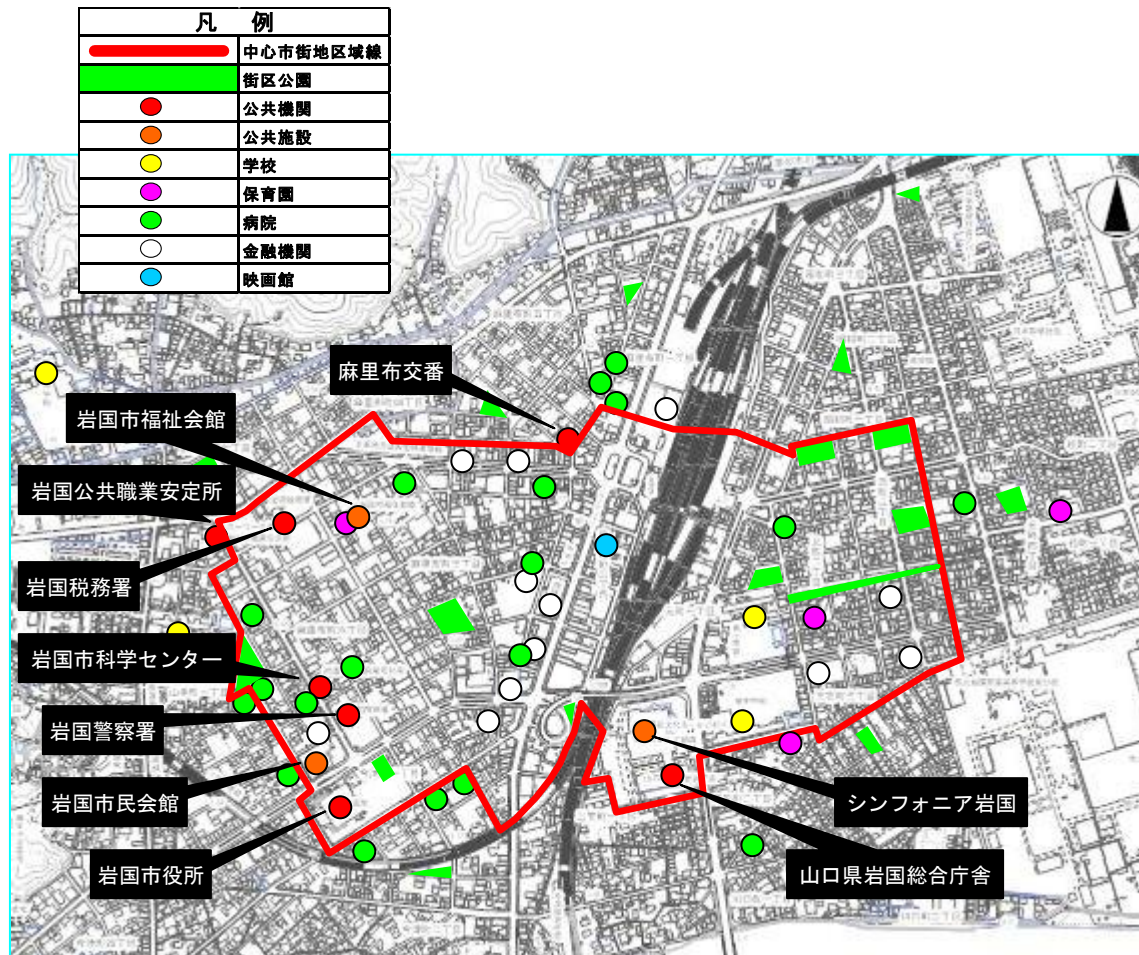
撤去台数(台/年)	H16		H17		H18		H19		H20		H21		H22		H23		H24		H25	
	自転車	バイク	自転車	バイク	自転車	バイク	自転車	バイク	自転車	バイク	自転車	バイク	自転車	バイク	自転車	バイク	自転車	バイク	自転車	バイク
岩国駅前周辺国道188号	19	0	18	0	23	0	20	0	22	0	63	0	37	0	67	0	20	0	11	0
岩国駅前周辺県道	9	0	5	0	4	0	3	0	2	0	0	0	0	0	21	0	8	0	14	0
岩国駅前周辺市道	28	0	26	1	29	0	38	0	53	0	52	0	31	0	57	0	34	0	32	0
岩国駅前自転車駐車場	43	0	103	1	159	0	135	0	137	0	177	0	114	0	122	0	50	0	54	1
岩国駅バイク置場	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
岩国駅東口駐輪場	68	4	59	0	127	0	113	0	159	0	120	0	80	0	125	0	46	0	110	2
市役所周辺	-	-	36	0	24	0	35	0	-	-	17	0	30	0	6	0	25	0	23	0
合計	167	4	247	2	366	2	344	0	373	0	429	0	292	0	398	2	183	0	244	5

(資料：岩国市市民生活部市民協働推進課)

④ 都市機能

本市の中心市街地は、ＪＲ岩国駅を中心として、市民や周辺他都市の住民の生活を支えるまちとして、税務署、公共職業安定所、県総合庁舎、警察署、市役所などの公共機関、シンフォニア岩国、岩国市民会館、福社会館などの公共施設をはじめ、商業施設、事業所、飲食店、娯楽施設などの各種機能を備えている。

<中心市街地内の主要公共公益施設>



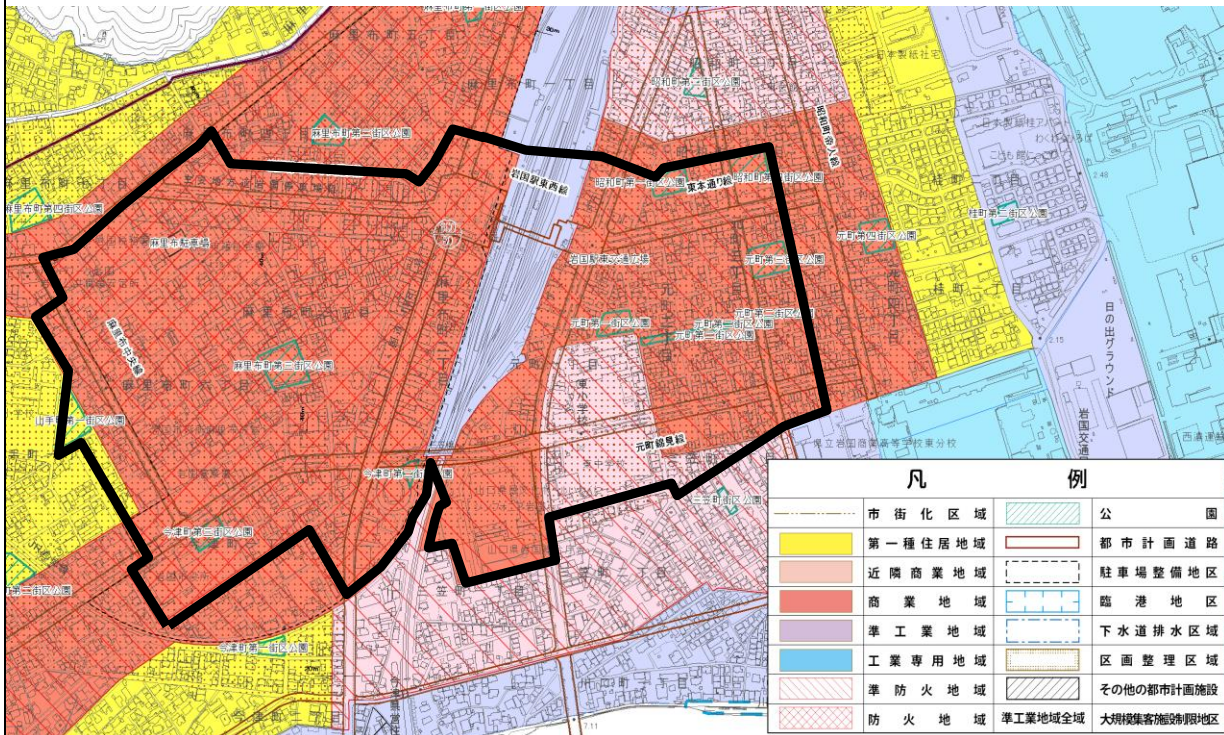
(資料：岩国市産業振興部商工振興課)

⑤ 土地

ア) 中心市街地の用途地域

J R岩国駅周辺は、商業地域が指定されている。

また、東中学校及び東小学校の周辺には近隣商業地域が、麻里布小学校周辺には第一種住居地域が指定されている。



(資料：岩国都市計画図)

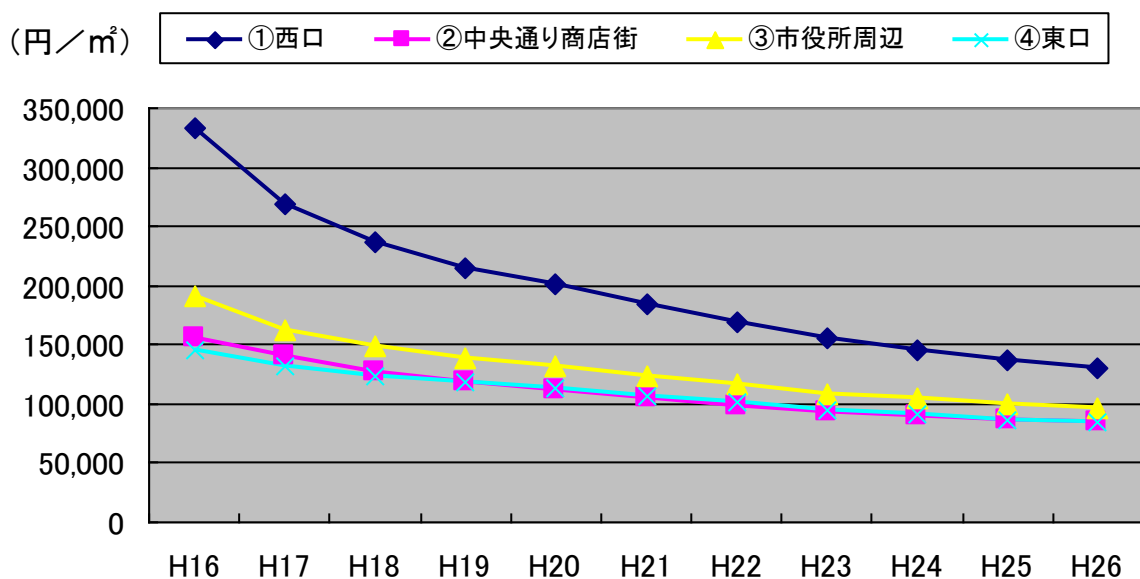
イ) 中心市街地における商業地の土地価格

土地の価格については、全国的にも下落傾向が続いているが、岩国市においても、平成 26 年の主要商業地の価格は、平成 16 年当時の 40%にまで下落している。

<中心市街地内商業地の価格>

公示価格 (円/㎡)	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
①岩国駅西側	333,000	269,000	236,000	215,000	201,000	185,000	169,000	156,000	146,000	137,000	130,000
②中央通り商店街周 辺	156,000	140,000	127,000	118,000	111,000	105,000	98,900	93,700	90,000	86,400	83,800
③岩国市役所周辺	191,000	163,000	148,000	139,000	132,000	124,000	116,000	109,000	104,000	99,400	96,200
④岩国駅東側	145,000	132,000	124,000	118,000	113,000	107,000	101,000	95,300	90,900	87,000	84,700

中心市街地内商業地の価格



(資料：国土交通省地価公示)



<県内主要商業地の地価>

岩国市	下関市	防府市	周南市	山口市	下松市	宇部市	萩市	柳井市	光市	山陽 小野田市	長門市	美祢市
130,000	190,000	131,000	120,000	92,200	103,000	94,100	71,000	62,700	70,500	50,800	45,500	23,700

*各市とも商業地のうち最高価格の標準地 (円/㎡) ・平成 26 年

(資料：国土交通省地価公示)

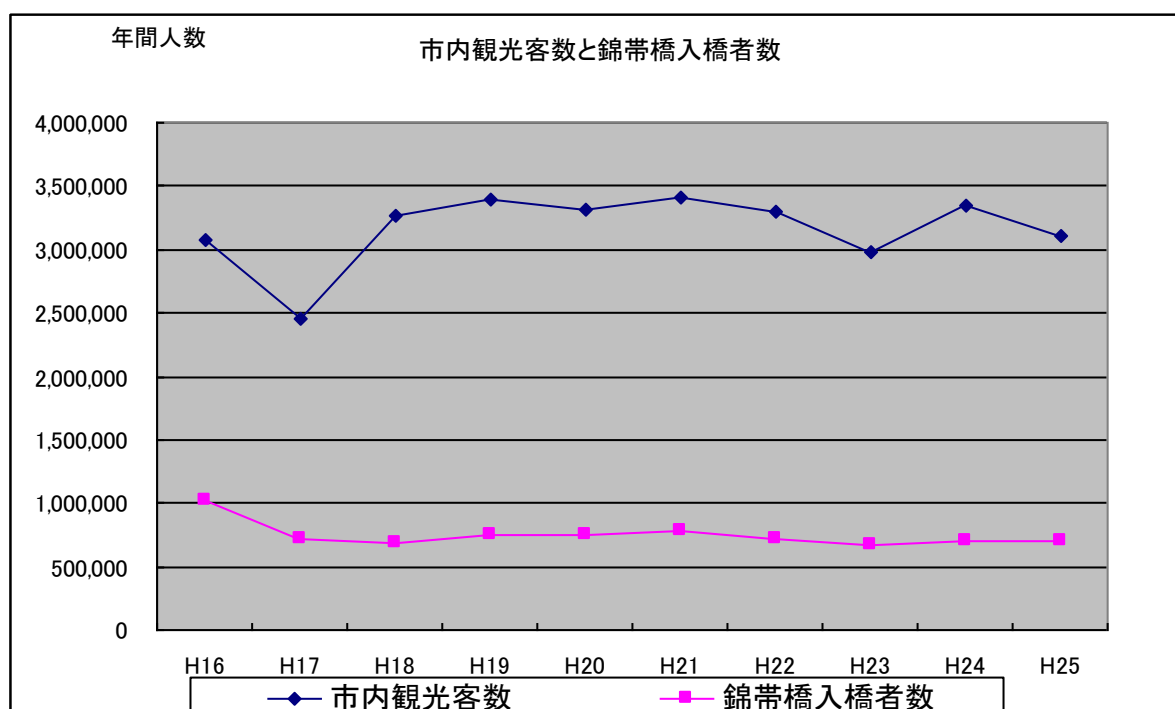
(3) 参考資料

① 観光

ア) 観光入込客数

本市を訪れる観光客数は、平成 25 年で 3,112,598 人となっており、そのうち錦帯橋入橋者数は 700,866 人で全体の約 23%を占めている。錦帯橋周辺は最も多くの観光客が訪れる場所であり、本市の観光の中心となっている。

観光入込客数を経年で見ると、平成 12 年以前は減少傾向にあったが、平成 13 年の錦帯橋架け替えを機に少しずつ上昇し、平成 16 年の架け替え完了の年には大幅な上昇が見られた。平成 17 年に台風の影響により山陽自動車道通行止めのため入込客数は減少したが、平成 18 年の市町村合併により入込客数は大幅に増加し、現在まで高い水準を維持している。



(資料：岩国市観光客動態調査)



イ) イベント

市内では年間を通して行われる様々な行事・イベントは各地域の特色が活きており、幅広い年齢層の人々が参加している。

<イベント情報>

月	行事	場所
4	府谷シバザクラまつり	錦町
	錦帯橋まつり	錦帯橋周辺
5	くすのき花火フェスティバル	くすのき広場周辺
	日米親善デー	米軍岩国基地
6	錦帯橋花菖蒲まつり	吉香公園周辺
	エンジョイスポーツまつり	周東町
	府谷ほたるまつり	錦町
7	岩国港みなと祭花火大会	岩国港
	ゆう土曜夜市	由宇町中央・南の商店街
	夏祭り玖珂土曜夜市	玖珂小学校グラウンド
	夜～遊びフェスタ	錦ふるさとセンター
	岩国駅前夏祭り	岩国駅周辺
	東地区土曜夜市	人絹町
	山代夜市	本郷きらめき交流プラザ
8	錦川水の祭典	錦帯橋下河原・吉香公園
	美川サマーフェスティバル	美川ムーバレー親水公園周辺
	岩国駅前夏祭り	岩国駅前中央通り
	本郷夏まつり	本郷町
	しゅうとう花火大会	島田川天神湖畔
	周防祖生の柱松	周東町祖生
9	岩国城ロープウェー観月運転	岩国城ロープウェー山頂駅周辺
10	美川ふるさとまつり	美川小中共用グラウンド
	市民健康スポーツのつどい	岩国運動公園など
	岩国祭	岩国駅周辺
	Y O U ・ ゆう ・ フェスタ	潮風公園みなとオアシスゆう
11	I - フェスタ	錦帯橋上河川敷グラウンド
	美和サンチャロウまつり	黒沢グラウンド
	鞍掛城まつり	玖珂こどもの館
	にしきふるさとまつり	岩国高校広瀬分校グラウンドなど
	本郷ふるさとフェスタ	本郷きらめき交流プラザ
	周東食肉フェア	周東町
1	初日の出早朝運転	岩国城ロープウェー
	鉄砲隊初放し	錦帯橋下河原
	消防出初式	横山河川敷運動広場
3	錦帯橋ロードレース大会	錦帯橋周辺
	麻里布酒祭	中通商店街
毎月 第3日曜日	軽トラ新鮮組！	中通商店街

中心市街地でのイベント

(資料：岩国市産業振興部商工振興課)

